

(別紙12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	高島町役場
実習期間	令和 2 年 2 月 3 日 ~ 令和 2 年 2 月 7 日
学生氏名	安藤穂香
実習プログラム	オリエンテーション、業務説明、第6次総合計画について、アンケート集計・分析、庁舎内見学、課内会議、東京外国語大学スタディーツアー冬地域活動報告会、料理展・もっくるでの取材、熱中小学校を見学、広報の編集会議
学び・気づき (300字程度)	インターンシップを通して、自分に足りない力を知り、社会人としての対応や責任感のある姿を見ることが出来ました。自分に足りない力として1番に思ったことは、コミュニケーション力がないということです。取材の時に単調になってしまったからです。職場の方々と一緒に会議をした際に話し合いの意見に自分の考えがしっかりと入っていて一人一人に責任があることが当たり前の世界なんだと実際に感じる事が出来ました。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	コミュニケーション力がない原因として、目上の人と話す機会が少ないことや自分自身の敬語の使い方に自信が持てないことだと考えています。目上の人と話す機会は自分で作っていく必要があります。大学生という利点を十分にいかして色々なことに挑戦していきたいです。そうすることで敬語を使い自然と自信がつくと思うので積極的に行動していきたいです。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	高島町役場は、町の課題をしっかりと把握していることはもちろん、町の人々にアンケートをとり意見を取り入れながら解決を目指していました。また、町の将来像として『ゆきかう「またね」あふれる「うふふ」』というテーマを掲げています。高島町らしい暖かみのあるテーマであることは分かりますが、一見意味が伝わりにくいと思いました。しかし、話しを聞いていくと意味は奥深くこのテーマでしか表せないと感じました。このようなユーモア溢れる職場でインターンシップを経験させていただき、とても楽しかったです。
写真 (1~3点)	

